

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール④

## よつば小学校

5/20(火)に第1回学校運営協議会が開催されました。令和6年度に引き続き、会長に亀澤委員(村木地域振興会会長)、副会長に大野委員(大町コミュニティセンター長)が選出されました。



第1回学校運営協議会

校長の森田委員から、グランドデザインを基に学校運営方針の説明がありました。亀澤会長から「昨年度末の学校運営協議会の意見が反映された運営方針」となっている」との評価がありました。一例として、昨年度末の「縦割り活動を積極的に取り入れてほしい」という意見を取り入れ、今年新たに「異学年交流の場の設定」を重点に位置付けました。すでに、異学年交流活動を実施したとの報告がありました。

「子供たちの笑顔のために」学校・家庭・地域がつながる  
温かいコミュニティ・スクール よつば小学校



### コミュニティ・スクールの魅力は何？

子供にとっての魅力

- 学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。

教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が可能となり、学校の業務改善につながります。
- 地域と連携した教育活動が充実します。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生じます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。

学校運営のベースが「学校・家庭・地域がつながる温かいコミュニティ・スクール」であるとし、森田委員は、地域・家庭・学校で育てたい子供像について意見を求めました。挨拶について全員が賛同の立場で、「それぞれの立場で取り組んでいくことが大切」「年々挨拶の輪が広がっている。なかなか挨拶ができない子のためにも地域の大人が行動を見せることが大切」など、学校・家庭・地域の共通の目標とすることを確認しました。

また、コミュニティ・スクールの魅力を「子供」「教職員」「保護者」「地域の人々」それぞれの立場で整理し、地域住民のネットワークを生かした「温かいコミュニティ・スクール」づくりに向けて、改めて理解と協力を依頼しました。